

進路通信

兵庫県立北須磨高等学校 進路指導部

【共通テストプレテスト集計結果】

昨日・一昨日実施したプレテストの結果をお知らせします。このテストでは採点は行わず、皆さんの自己採点結果の報告をもとに集計しています。これは、本番の共通テストおよび自己採点と同じ要領です。上段が49回生のもの、参考に昨年(48回生)のプレテストの結果を併記しています。

	国語	英語	リス	数IA	数IIB	物基	化基	生基	地基	物理	化学	生物
49ブレ	119.3	70.8	67.7	57.1	44.7	24.6	31.6	29.7	29.1	37.9	42.9	44.9
48ブレ	114.0	75.7	64.9	57.9	48.4	16.0	28.9	27.4	31.9	69.7	43.3	49.9

	世B	日B	地B	現社	倫理	政経	倫政	文系900	理系900
49ブレ	63.3	61.4	46.8	59.4	75.1	50.0	67.4	543.6	496.8
48ブレ	61.5	61.0	50.9	62.7	69.9	75.0	67.1	547.8	529.2

受験の仕方・自己採点・転記などについては見逃すことのできないミスが多数見られました。以下、その注意です。

Notice !

1 受験について

- ・受験番号(記号番号)、科目のマーク抜け。記入方法の違い。
- ・解答すべき科目の違い(数Iと数I・Aなど)、問題番号とマークの間のずれ。
- ・マークは鉛筆(H, F, HB)で。シャープペンでのマークは読み取られなくても文句が言えない。

2 自己採点および転記

- ・年、組番のマーク違い(番号は「左2つの欄を使用」してマークせよと指示した)
- ・現代文+古文+漢文の合計が国語の点数と等しくない
- ・満点値(100点、50点)以上の得点がある
- ・存在しない科目(日本史Aなど)を受験したことになっている
- ・地歴公民や理科②で、
第1解答科目および第2解答科目欄への転記・マークが正しくない
マークシートへの転記の際、数字を記入したがマークがない
(この場合、個人成績表にはマークされた科目のみが表示されます)
- ・マークシートへは「地歴公民、理科②では解答科目数が1科目の場合にも第1解答科目欄にマークせよ」と指示したが、その指示に従っていない。(全くマークがない、第1解答科目が2つある)

100名近くの人が、このうちのなんらかのミスを行っています。2人に1人です。この率から考えると、自己採点結果そのものの信憑性にも疑問を持たざるを得ません。例年、リサーチの結果がいいのに不合格になる人の中には、このような自己採点ミス・集計ミスが一定の割合で含まれている可能性があります。特に、第1解答科目が特定できない不備は、本番後のリサーチでは「判定不能」になるので気をつ

けてください。このようなことがあると、共通テスト後の出願に混乱をきたします。

本日返却された「自己採点用紙」「自己採点マークシート」「個人成績票」の3種類が一致していない人は、本番では同じことを繰り返さないように、その原因をよく見極めておいてください。マークシートの不備には朱が入れてあります。

【自己採点はどの程度正しいか】

数年前の卒業生のセンター試験の成績開示の結果と、自己採点の差を調査したのが次の表です。

協力してくれたのは受験者220名のうち66名でした。この中の多くは満点値が950点(当時の配点合計)の受験生です。「差」とあるのは、例えば英語で3点多く自己採点し、国語で2点少なく自己採点した場合、間違いを5点として計算したものです。66名のうちおよそ3分の1は開示結果との差が0、半数の人は差が1桁台でした。この点数差が各科目に配分・圧縮されることを考えると、自己採点を元に出願先を決定しても、実際の成績との食い違いから生じる不都合はほとんどなかったと考えられます。

差	人数	%
0	24	36%
1~9	34	52%
10~19	8	12%

ただ、この学年も、プレテストでは相当数の生徒が自己採点でミスをしていました。では49回生も「自己採点も本番になれば、大丈夫。正しい結果が得られるのだ!」と考えていいのでしょうか?

上のデータは220名のうちの66名分です。データ提出の依頼は220名に対して卒業時に行いましたから、卒業後2か月近くが経過しています。4月に成績通知書が届き、それを見て学校からの依頼を思い出し、コピーを取って封書で郵送する、というのは結構な手間です。それに、卒業生自身にとっては何のメリットもありません。成績を提供してくれた人はそういう意味では非常に意識の高い、しっかりした人物ばかりだと思われ、そういう人だからこそ、自己採点と実際の点数の食い違いが少ないとも考えられます。これ以外の154名の人は、成績開示がされても学校からの依頼を思い出さなかったか、面倒くさくて送付しなかったか、親元を出て学生生活を送っている人でしょう。下宿生を除くこれらの人の中には、実際の成績と自己採点の間に10点以上も開きのある人が**一定数**存在すると考えられます。

これまでの模試でも自己採点を繰り返してきましたが、実際の結果との比較はどうだったのでしょうか。練習する時間はもうありません。あとは本番のみです。落ち着いて、正確に自己採点することの前提は、問題用紙に間違いなく自分の答を記録しておくこと・マークミスをなくすることです。残りの時間、学習の中身だけでなく受験周辺の状況も意識してください。

【冬休みを迎えるにあたって】

明後日からの冬季休業は、共通テスト前のまとまった時間として有効に使いましょう。今日を入れて23日間あります。学力を伸ばすことはもちろんですが、受験会場の下見や交通ダイヤの確認など実務的なことも必要です。また、寒い時期ですが、何よりも体調維持と生活ペースの保持を心がけてください。また、本番では受験第1コマからアタマがフル回転できるよう、朝型の生活リズムを定着させましょう。

【受験準備】

入学願書は第1志望だけでなく多めに準備しておきましょう。国公立では前期・中期・後期分をまとめて考え、それぞれを複数取り寄せておくことが必要です。(実際に使用するのは各1通です)取り寄せに一定の時間がかかるので余裕をもって申し込んでください。

